

地域との連携

～部活動のクラブ化と運動能力の向上～

岐阜県大垣市立

かみいしつ
上石津中学校

全校生徒数171名
(男子77名 女子94名)

電話番号 0584 (47) 2024

実践内容

実施目的

- ① 休日や平日夜間の部活動をクラブ化し、地域の協力のもと、生徒がより高い技能を習得し、運動能力を高めたり、仲間との絆を深めたりする活動を創り出す。
- ② 保護者によるクラブ育成会を組織したり、地域人材のコーチに指導を依頼したりすることで、地域全体で生徒の力を伸ばしていこうとする環境を整える。
- ③ 学校、保護者、地域人材のコーチが共通理解のもとで生徒の指導にあたることができるようにする。

実施内容

1 部活動のクラブ化

(1) 部活動とクラブの一体化

クラブは、保護者が地域人材のコーチ（指導者）や場所、時間を確保し、部活動と同じ生徒で構成する。部活動指導者とコーチは指導方針を共通理解し、それぞれの場で指導にあたる。このような一体化した部活動とクラブの指導で、十分な活動時間を確保し、より高い技能を身に付けさせている。

(2) 技能の向上

卒業生や保護者から、専門的な技能を生徒に教えたいという申し出がある。そのような地域人材にコーチとして指導を求めることで、一層の技能の向上を目指している。

2 地域や保護者との協力・連携

(1) 保護者との協力・連携

各クラブには保護者で構成するクラブ育成会がある。ここでは、当番を決めて練習を見届けるだけでなく、練習の計画から場所の確保まで中心となってクラブを運営している。こうしたことによって、生徒の練習への参加意欲を高め、個々の技能を向上させている。

(2) 地域との協力・連携

地域への投げかけや地域からの情報によって、専門的な技能とともに礼儀やマナーも指導できる地域人材の発掘に努めている。こうしたことは、地域で生徒を育てていこうとする気運も高めている。

(3) クラブ連合会の定期的な開催

年に数回、学校と各クラブ会長（保護者）、指導者によるクラブ連合会を開催している。活動の様子等を互いに確認し合うことで、生徒の心身の育成をともに支えている。

(4) 親子レクリエーションの開催

PTAが主体となって、レクリエーション協会から講師を招き、1・2年生合同の親子レクリエーションを開催している。運動への親しみや関心を高めるとともに、親子で汗を流し、ふれあう機会を創り出している。

実施上で工夫したこと

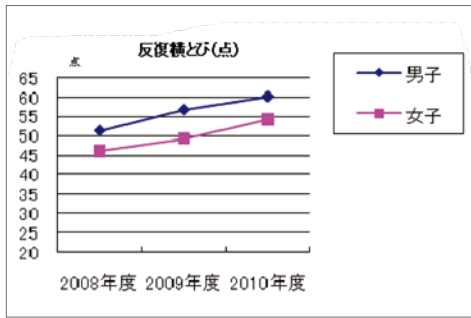
- ① クラブ連合会で指導方針の共通理解を図り、学校と保護者、指導者の円滑な関係づくりを目指した。
- ② 生徒と学校、保護者の願いを理解し、継続した指導を依頼できる、地域に根付いた指導者の発掘に力を注いだ。
- ③ 新体力テストの結果をクラブ連合会に資料として報告し、指導方法の改善に生かした。

主な成果

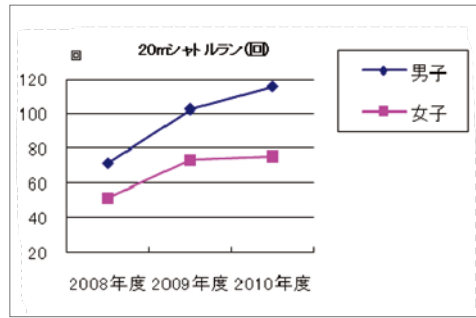


地域と連携し、部活動をクラブ化することによって次のような効果が現れ、生徒の運動能力が向上した。

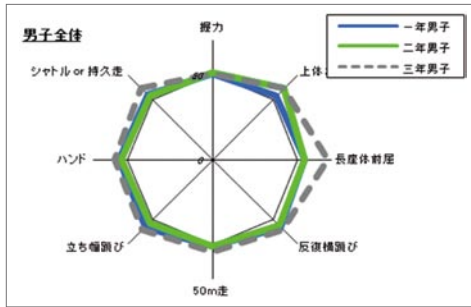
- ① 保護者や地域の協力によって、休日や平日夜間の練習に熱心に参加する生徒が増えた。
- ② 学校、保護者、地域の指導者が連携をとることによって、技能と精神の両面で生徒を支えることができた。
- ③ 各種の大会で優秀な結果を残すだけでなく、授業日の欠席も少なくなった。



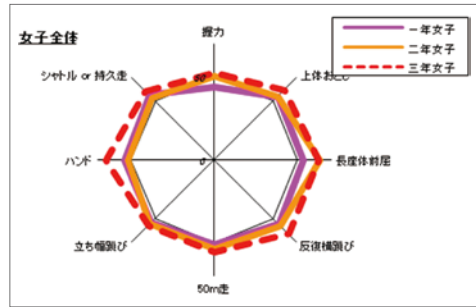
反復横とび3年間の伸び



20mシャトルラン3年間の伸び



全校男子新体カテスト結果



全校女子新体カテスト結果



活動の様子①



活動の様子②



活動の様子③



親子レクリエーション